

■ セッション ★要事前申込

芸術文化に関わる活動にさまざまな立場で取り組む実践者、研究者、アーティストが、事例・経験を紹介し、それぞれの活動の背景にある理念を共有、語り合う場「セッション」。参加者の、日々の現場で役立つヒントや気づきを得る機会となることを目的としています。

オープニングセッション 「生活圏」とアート 10月20日(月)15:30-17:30

2025年のテーマ「居場所とわたし」を考える起点として、人々の日常生活のなかでの「生活圏」に、アートはどのように活用され、作用しているのかを議論します。

人々の記憶や地域の歴史をアートに取り入れる「コミュニティ・アート」をベースに異なるアプローチから作品を制作する二人のアーティストと、理論と実践の両面を備えた社会学者の視点から、アートが居場所をつくることの可能性について考えます。

登壇者



小泉 元宏

(社会学者、文化政策研究者)



中崎 透

(美術家)



撮影：松蔭浩之 Courtesy Mizuma Art Gallery

宮永 愛子

(美術家)

モデレーター



撮影：池田 宏

森 司

(アーツカウンシル東京 事業調整課長)

文化的なケアの実践

10月21日(火) 10:30-12:00

登壇者

天野 未知 (東京動物園協会 教育普及センター所長)

唐川 恵美子 (文化環境設計士)

モデレーター

西原 珉 (キュレーション、心理療法士)

アートの気配がある居場所

10月21日(火) 15:30-17:00

登壇者

青木 彬 (藝とディレクター、社会福祉士)

松浦 千恵 (ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士))

モデレーター

富塚 絵美 (アートディレクター)

更新された美術館の役割

10月22日(水) 10:30-12:00

登壇者

大政 愛 (はじまりの美術館 学芸員)

木内 真由美 (長野県伊那文化会館 学芸主幹)

モデレーター

駒井 由理子 (アーツカウンシル東京 事業調整担当課長)

居場所の見つけ方

10月22日(水) 15:30-17:00

登壇者

砂連尾 理 (ダンサー、振付家)

松本 雅隆 (ロバの音楽座主宰)

モデレーター

齋藤 紘良 (作曲家、しぜんの国保育園理事長)

世界と対話するための身体

10月23日(木) 10:30-12:00

登壇者

田畑 真由美 (当事者支援、手話通訳士、社会福祉士)

和田 令子 (コミュニケーター、調布市聴覚障害者協会理事)

モデレーター

郡司 明子 (群馬大学 共同教育学部 教授)

クロージングセッション わたしの居場所—未来のあたりまをを考える

10月23日(木)14:30-16:30

だれもが社会に参加できる「居場所」づくりにより、新しい社会モデルが創出、実現され、いつしかそれが「あたりまえ」になる日に向けて、障害者の社会参加や学びの場を創出してきた教育者と、人々が協働する場をひらき、居場所をつくる活動を長年継続してきた芸術家が、アートが他分野と協働することで切りひらく「あたりまえの居場所」の未来像を語ります。

登壇者



石原 保志

(筑波技術大学 学長)



小山田 徹

(芸術家、京都市立芸術大学 学長)

モデレーター

森 司

(アーツカウンシル東京 事業調整課長)

■ セミナー ★要事前申込

アクセシビリティに関する技術や手法を持つ実践者が、現場の活動に根ざした具体的な事例を用いて発表する「セミナー」。

参加者が携わるアートの現場の環境整備に役立てることを目的としています。

アクセシブルなウェブデザインとは何か

10月21日(火) 12:30-13:30

登壇者

伊敷 政英(アクセシビリティ・コンサルタント)

萩原 俊矢(ウェブディレクター、プログラマー、デザイナー)

バリアフリー活弁士による鑑賞体験

10月21日(火) 13:00-14:30

登壇者

石井 健介(ブラインド・コミュニケーター)

関場 理生(俳優、ナレーター)

檀 鼓太郎(俳優、演出、ナレーター、バリアフリー活弁士)

手話通訳の基本と理論の重要性

10月21日(火) 14:10-15:10

登壇者

飯泉 菜穂子(手話通訳士、手話通訳技能研修講師)

那須 映里(役者、手話エンターテイナー)

学習障害と支援教材

10月22日(水) 12:30-13:30

登壇者

加藤 甫(写真家、Studio oowa主宰)

高田 裕美(書体デザイナー)

カームダウンスペースをつくる

10月22日(水) 14:10-15:10

登壇者

佐藤 慎也(日本大学 理工学部建築学科 教授、八戸市美術館 館長)

綿貫 愛子(NPO法人東京都自閉症協会役員)

日常をアートでデザインする

10月23日(木) 11:00-12:00

登壇者

佐藤 李青(アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー)

仲 幸蔵(編集者、ディレクター)

福田 忍(デザイナー、アートディレクター)

文化事業と評価

10月23日(木) 13:00-14:00

登壇者

清水 潤子(武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 講師)

渡辺 龍彦(編集者)

登壇者のプロフィールや各プログラムの最新情報は公式ウェブサイトをご参照ください。

URL : <https://creativewell.rekibun.or.jp/creativewell-conference/2025.html>



クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョーとは

芸術文化の力や都立文化施設の資源を活用し、高齢化や共生社会など、東京の社会課題解決への貢献を目指し、高齢者、障害者、外国人、乳幼児等を対象者に「アクセシビリティ向上」と「鑑賞・創作・発表機会の拡大」に取り組むプロジェクト。本プロジェクトでは、都立文化施設の情報アクセシビリティ環境を整備し、障害や年齢等を問わずあらゆる人が文化芸術を鑑賞するとともに、参加・創造するためのプログラムを実施しています。



**Creative
Well-being
Tokyo**

だれもが文化でつながるプロジェクト



オールウェルカム
TOKYO

～ 感動と共感が、東京を、未来を、変えていく。みんなでつなげるサポートの輪。～
オールウェルカムTOKYOは、芸術文化を中心に、アクセシビリティ向上に取り組むみなさまとともに、障害の有無や、言語・文化の違いを超えて、もっとだれもが楽しめる東京を目指すキャンペーンです。
【特設サイト】<https://awt.rekibun.or.jp/>